



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月3日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東
 コード番号 3687 URL http://www.fixstars.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,032	△2.6	124	△31.4	102	△43.8	71	△44.7
28年9月期第1四半期	1,059	27.0	181	△15.5	181	△16.2	128	△10.9

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 93百万円 (△30.1%) 28年9月期第1四半期 133百万円 (△10.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	10.62	10.60
28年9月期第1四半期	19.45	18.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第1四半期	2,483	2,105	84.6	313.04
28年9月期	2,604	2,167	83.0	322.14

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 2,101百万円 28年9月期 2,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	23.00	23.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,066	△0.7	377	△4.8	365	△8.2	238	△11.9	35.50
通期	4,400	8.3	800	12.6	785	11.0	529	2.7	78.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期1Q	6,712,000株	28年9月期	6,712,000株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	一株	28年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期1Q	6,712,000株	28年9月期1Q	6,624,043株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、一部に改善の遅れもみられるものの、個人消費や雇用環境に持ち直しの動きがみられ緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外経済につきましても、中国をはじめとする新興国経済の先行きやアメリカの金融政策等の動向については留意する必要があるものの、引き続き緩やかに回復いたしました。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、従来からのマルチコア向けソフトウェア開発サービスに加えて、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスの2つを当社の事業の柱として、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業では、マルチコア向けソフトウェア開発サービスにおいて、自動車分野で注目されている先進運転支援システムや自動運転関連の案件、医療機器やファクトリーオートメーション向けの組み込みソフトウェア案件及び金融分野やディープラーニングを対象とした高速化案件等を中心に継続的に受注しております。また、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスにおいては、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が継続しております。

当社グループが開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業では、画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入を中心に、引き続き受注しております。また、次期重点戦略事業と位置づけている大容量高速ストレージ・サーバ事業においては、広告宣伝等の販売促進及び産業分野等の特定分野における導入に向けた開発に取り組んでおります。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、北米地域における大容量高速ストレージ・サーバの販売拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、1,032,271千円（前年同期比2.6%減）、営業利益124,625千円（前年同期比31.4%減）、経常利益102,057千円（前年同期比43.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益71,297千円（前年同期比44.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

(ソフトウェア・サービス)

マルチコア高速化サービスを中心とした旺盛な引き合いがある一方で、昨今のエンジニア需給ひっ迫を受け社員数が伸び悩むなか、パートナー企業と共に機械学習等を用いた新たなビジネス形態の構築を目指す新規事業において先行開発を行いました。

この結果、売上高は661,377千円（前年同期比13.8%減）、セグメント利益（営業利益）は、73,720千円（前年同期比53.5%減）となりました。

(ハードウェア基盤)

画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入が、海外を中心とする顧客製品の旺盛な需要に支えられ伸長し、また、大容量高速ストレージ・サーバ事業の販売促進及び開発に取り組みました。

この結果、売上高は370,894千円（前年同期比26.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、50,905千円（前年同期比119.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて120,978千円減少し、2,483,304千円となりました。これは、電子記録債権が27,347千円、仕掛品が46,801千円増加した一方で、現金及び預金が140,784千円、売掛金が46,376千円減少したこと等が主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて59,102千円減少し、377,594千円となりました。これは、買掛金が68,965千円増加した一方で、未払法人税等が89,960千円、賞与引当金が34,512千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて61,876千円減少し、2,105,710千円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が2,708千円、為替換算調整勘定が19,271千円増加した一方で、利益剰余金が83,078千円減少したこと等が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の業績予想につきましては、平成28年11月10日付の「平成28年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,198,653	1,057,868
売掛金	755,736	709,359
電子記録債権	149,867	177,215
商品及び製品	168,560	160,738
仕掛品	22,628	69,430
原材料	26,193	26,183
繰延税金資産	51,397	29,904
その他	16,832	15,026
流動資産合計	2,389,870	2,245,726
固定資産		
有形固定資産	25,571	38,043
無形固定資産		
その他	17,657	25,447
無形固定資産合計	17,657	25,447
投資その他の資産		
投資有価証券	77,329	81,681
その他	93,854	92,405
投資その他の資産合計	171,183	174,086
固定資産合計	214,412	237,577
資産合計	2,604,283	2,483,304
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,435	179,401
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	104,766	14,805
賞与引当金	57,765	23,253
その他	148,764	145,319
流動負債合計	431,732	372,779
固定負債		
繰延税金負債	4,964	4,815
固定負債合計	4,964	4,815
負債合計	436,696	377,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	549,968	549,968
資本剰余金	455,968	455,968
利益剰余金	1,153,324	1,070,246
株主資本合計	2,159,261	2,076,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,032	31,740
為替換算調整勘定	△26,066	△6,795
その他の包括利益累計額合計	2,965	24,945
新株予約権	455	420
非支配株主持分	4,904	4,161
純資産合計	2,167,586	2,105,710
負債純資産合計	2,604,283	2,483,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,059,413	1,032,271
売上原価	688,165	682,638
売上総利益	371,248	349,632
販売費及び一般管理費	189,610	225,006
営業利益	181,638	124,625
営業外収益		
受取配当金	459	688
為替差益	277	—
その他	2	12
営業外収益合計	738	701
営業外費用		
支払利息	692	546
上場関連費用	—	19,674
その他	117	3,048
営業外費用合計	810	23,270
経常利益	181,567	102,057
特別利益		
新株予約権戻入益	—	35
特別利益合計	—	35
税金等調整前四半期純利益	181,567	102,092
法人税、住民税及び事業税	31,673	10,636
法人税等調整額	20,845	20,149
法人税等合計	52,518	30,785
四半期純利益	129,048	71,306
非支配株主に帰属する四半期純利益	196	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,851	71,297

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	129,048	71,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,655	2,708
為替換算調整勘定	758	19,271
その他の包括利益合計	4,413	21,979
四半期包括利益	133,462	93,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,265	93,277
非支配株主に係る四半期包括利益	196	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	766,964	292,449	1,059,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	766,964	292,449	1,059,413
セグメント利益	158,417	23,221	181,638

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	661,377	370,894	1,032,271
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	661,377	370,894	1,032,271
セグメント利益	73,720	50,905	124,625

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。